

アンケートの実施概要と回答者の属性について

◆アンケート実施時期

2013年11月20日(水)～2013年12月10日(火)

◆アンケート対象者

「One to One Club」にご登録されている、開業をお考えの先生方からランダムに抽出

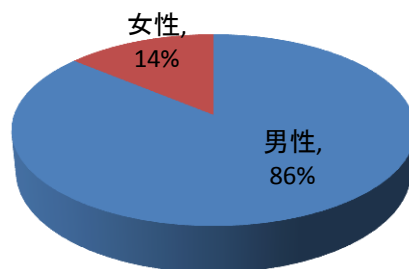
◆アンケート回収方法

アンケート対象者に対するメールのご案内とWEBアンケートによる回収

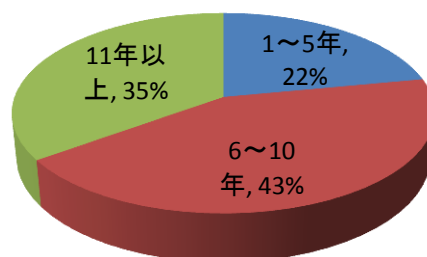
今回、実施いたしました「One to One Club」会員様向けアンケートにご協力いただいた先生方には、改めて御礼申し上げます。

今後もお引き立てを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【回答者の性別】

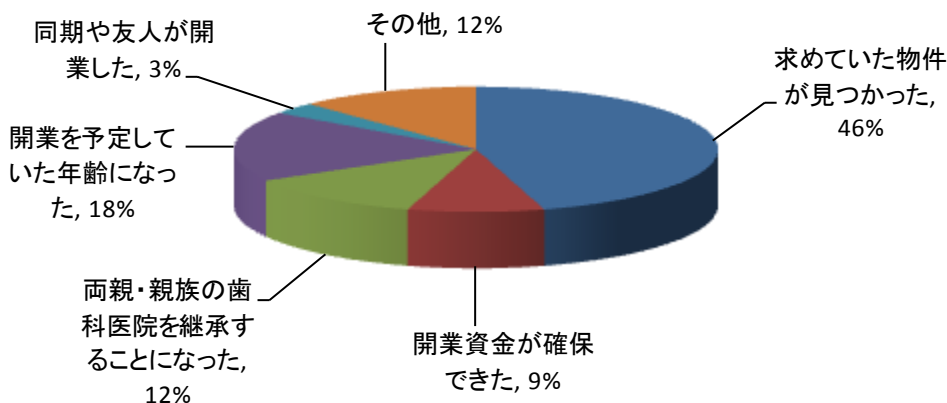


【回答者の勤続年数】



すでに開業されている先生に『開業したきっかけ』をお聞きしました。

【開業を決意したきっかけ】



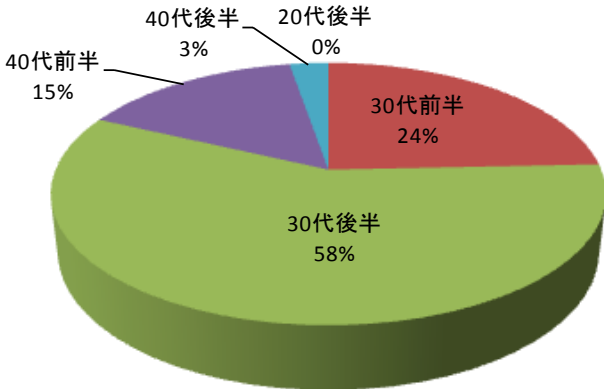
「開業をしたい」と考えている先生も、「いざ、開業！」と踏み出すためには、何らかのきっかけがあると思います。そこで、開業されている先生に「開業しよう」と決意したきっかけ、背中を押されたきっかけについてお聞きしました。

まず、一番多かったのは、「求めている物件が見つかった」でした。次いで、「開業を予定していた年齢になった」が多く、年齢が大きな指標になっていることがうかがえました。

「その他」と回答された方からは、「開業しないとできないことがしたかったから」というご意見や、「社会奉仕」としての観点から開業を決意したというご意見をいただきました。

開業適齢期と思われる年齢と、実際に開業した年齢(開業医のみ)についてお聞きしました。

【開業適齢期と考える年齢】



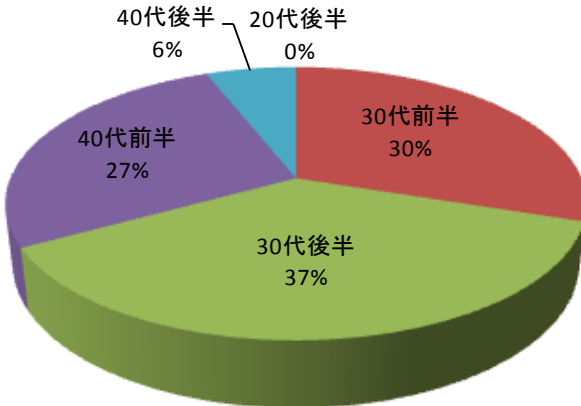
歯科医師全員に開業適齢期をお聞きしたところ、半数以上の方が「30代後半」で開業したほうがよいと考えているようです。また、82%の方が、「30代」が開業適齢期だと考えていることが分かりました。

開業適齢期でご回答いただいたトップ3は、

- ① 「35歳」
- ② 「40歳」
- ③ 「30歳」

となっており、ほとんどの方が「35歳」と回答されました。

【実際に開業した年齢】



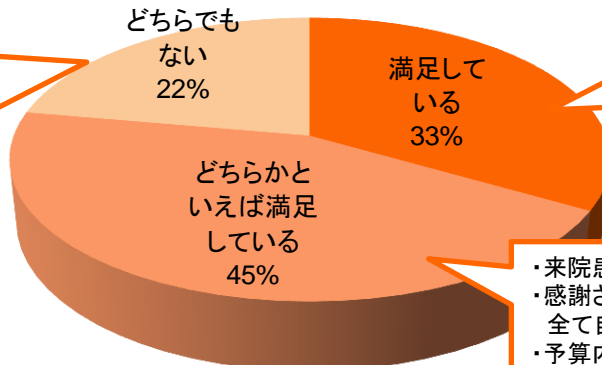
では、実際に開業された方が、何歳で開業されたのかを調べてみたところ、「30代」での開業が67%でした。

「40代」での開業が全体の3割を占め、開業適齢期の回答に対しては、差ができる結果となりました。

既に関業、あるいは開業目の先生の、開業満足度についてうかがいました。その中から、代表的なご意見をご紹介します。

【開業満足度】

・まだ慣れていない
 ・まだまだ軌道に乗ってないから
 ・やりたい治療ができる点と経営に対する不安などが混在してるため



・順調
 ・予定通り
 ・忙しいから
 ・スタッフ、患者ともに恵まれているから

・来院患者数が順調に増えている
 ・感謝されるとやはり嬉しい
 ・全て自己責任だからやりがいはある
 ・予算内で機器を導入できた

来院状況、やりがい、人間関係など、様々な価値観がうかがえる、貴重なご意見をいただきました。